

令和6年度の重点課題

情緒面での課題

○男子は、スポーツをする人が好きな割合が90%と多いが、やや嫌い、嫌いと答える児童が10%である。

○女子は、スポーツをする人が好きな割合が76%と多いが、やや嫌い、嫌いと答える児童が23%である。

体力面での課題

○男子は、「握力」「上体起こし」「長座前屈」「反復横跳び」「立ち幅跳び」において、令和6年度の全国平均値より低い。

○女子は、「握力」「上体起こし」「長座前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」において、令和6年度の全国平均値より低い。

○体力合計点が男女共に県平均及び全国平均を下回っている。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○年間通して準備運動（10分～15分）の中に、ACP（アクティブチャイルドプログラム）を取り入れる。

- ・体ジャンケン
- ・ひざタッチ相撲、トナカイとサンタ
- ・子とろ鬼
- ・レジボール投げゲーム 等

○児童が遊びを通じた運動に取り組めるよう、多様な遊びを紹介する。

○体育委員会が主体となり、ペアでできる体づくり運動の方法を紹介し、学級遊びの推進を図る。

○全児童を対象とした意識調査を実施する。

○年間を通して、阿西つ子サーキット（体育館・グラウンド）を授業の最初に取り入れる。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値（令和6年度）・全国平均値（令和5年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.85	17.29	29.73	40.02	47.15	9.49	150.24	21.50	49.72	第5学年	13.51	17.87	34.62	35.13	30.89	9.90	142.64	11.40	49.98

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値（令和7年度）・全国平均値（令和6年度）との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	13.85	17.29	29.73	40.02	47.15	9.49	150.24	21.50	49.72	第5学年	13.51	17.87	34.62	35.13	30.89	9.90	142.64	11.40	49.98

県平均値かつ全国平均値未満

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	78.05	12.20	9.76	0.00	第5学年	48.94	27.66	14.89	8.51

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 運動嫌いな児童が少しでも楽しめるような体育授業の工夫を継続する。
- 昨年同様、年間を通して準備運動の中に阿品台西つ子サーキットを取り入れる。その際、どの運動がどの力になっているかを意識させる。体育委員会が主体となり、ペアでできる体づくり運動の動画を紹介し、各学級が準備運動や授業の導入に取り入れられるよう推進し、児童の主体性を高める。
- 全学年がサーキットを定着するように、年度初めに周知しておく。

体育の授業以外で行う取組内容

- 今年度と同様に、週1回木曜日を全員遊びの日（もりもり遊ぼうデー）として、クラス全員で外遊びをする日を設定する。
- 学校行事として、持久走チャレンジ週間、縄跳びチャレンジ週間を実施し、マラソンカードや縄跳びカードを活用して取り組ませる。自分のめあてを意識させながら取り組ませる。
- 縦割り班遊びを月一で実施し、遊びの楽しさを感じる機会を設ける。
- 外遊びの本を置いたり、外遊びの方法を掲示板に貼ったりし、外遊びを紹介する場を設定する。

重点課題

情意面での課題

○男子は運動をすることが好きな児童の割合が、90.25%と高く、やや嫌い、嫌いと答える児童の割合が9.76%である。

○女子は運動をすることが好きな児童の割合が、76.6%とやや高く、やや嫌い、嫌いと答える児童の割合が23.4%である。

○運動が嫌いな児童が男子4名、女子10名いた。

体力面での課題

○男子は、「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」以外令和6年度全国平均値を下回っている。

○女子は「立ち幅跳び」以外令和6年度全国平均値を下回っている。

○1日の運動時間が30分未満の児童が23%である。

令和8年度の重点目標値

○体育の授業が楽しいと感じる児童を増やすため、教職員が楽しい体育授業を創造・改善・工夫していく。

○児童が遊びを通して、自らの体力を高めよう意識して、楽しみながら運動に取り組むことができるよう授業外でも運動の場を設ける。

○1日の運動時間が30分未満の児童を15%にする。